



2014年3月31日

株式会社 リクルート ライフスタイル

## 日本中が今ソファーを欲しがる「3つの理由」

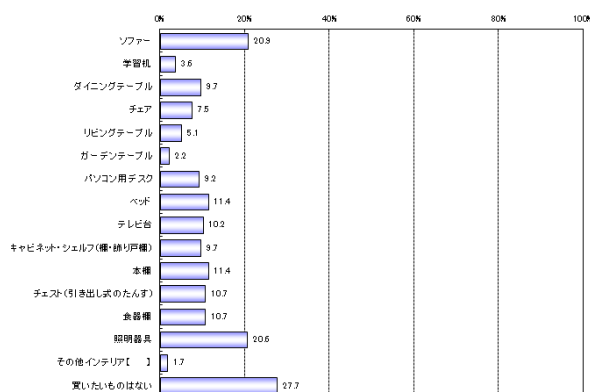
国内最大級の家具情報サイト『TABROOM』が「家具に関する意識調査」を発表

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）が運営する、国内最大級の家具情報サイト『TABROOM（タブルーム）』（<http://tabroom.jp/>）は、2014年3月、「家具に関する意識調査」を行いましたので、その結果をお知らせいたします。

### ■ついに明日から増税、駆け込み客が増加中

今回、20歳以上の男女を対象（800人）に「家具に関する意識調査」を行いました。4月1日から消費税が8%に上がりますが、その前に購入したいインテリアの1位（※）がソファーとなりました。また、直近1年以内で買い物した高額インテリアの1位にもソファーがランクイン。ずっと欲しかったけど手が出なかった、でも増税を機に思い切って購入する“駆け込みソファー需要”が高まっているようです。

※右図「もしインテリア関連の購入予算として、30万円がある場合、あなたが消費税増税前にインテリア関連で買っておきたいもの」



### ■ソファーは恋のキューピッド!?

「異性の部屋にあるとぐっと好感度が上がる家具・インテリア雑貨」をフリーアンサーで調査したところ、ここでもソファーがダントツの1位を獲得。「オシャレに見える」や「(生活に) 余裕を感じる」などの回答が多く見られました。また、それらと並び、「2人で一緒にゆっくり過ごせそう」「一緒に座れるから(2人の) 距離が縮まりそう」など、恋愛の発展を期待する声もありました。

### ■『TABROOM』プロデューサーが語る、日本人の最新“ソファー”事情

「小さなお子さんがいてもソファーを置きたいというニーズからか、カバーリングタイプでウォッシュアップのソファーが人気を集めているようです。また、最近では“ロボット掃除機”を使う方が増えたためか、足元に一定の空間があることを条件にされる方も多いようです」（『TABROOM』プロデューサー・塩見直輔）

### ■『TABROOM（タブルーム）』概要

国内最大級の家具情報サイト。掲載商品数は約6300点（色違い・素材違いも含めるとおよそ10万点）、約220ブランドと約6900ショップの情報が閲覧できます。

『TABROOM（タブルーム）』ウェブサイト：<http://tabroom.jp/>

#### ※ちなみにこんな調査結果も……

「普段寝る際に使用する家具」を調査したところ右図のような結果となりました。日本伝統の寝具＝布団がベッドに敗北するという事態と同時に、さらに注目すべきは、その地位を脅かす存在としてソファーが3位にランクインしています。“川の字に布団を敷いて家族仲良く”といった光景は姿を消し、今後は川の字にベッド、さらにはソファーを並べる時代が来る……かもしれません。

1	ベッド	56%
2	布団	40%
3	<b>ソファー</b>	<b>1.6%</b>
4	ソファーベッド	0.8%
5	寝具は使わない	0.5%
6	その他	0.2%

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press/>